

組合HP作成に関するアンケート調査結果

●回答者

- ①ノア・アーキテクト、②田中建築設計事務所、③水上設計、④土田建築設計事務所、
- ⑤白井設計、⑥鈴木設計、⑦はりゅうウッドスタジオ、⑧中山建築研究所、
- ⑨八島企画設計

◎HP見直しの目的は大きく三つです。一つ目が業務受注の相手先である自治体等の発注者の皆様に対する営業ツールとして見やすい業務案内とすること、また、発注者が知りたい、発注者に知って欲しい情報を分かりやすく掲載することです。

二つ目は組合員に必要とされる情報を掲載すること、さらには新規組合員募集に際し魅力ある組合であることを周知することです。

そして、三つ目がこれらの情報を事務局や組合員が容易に更新できることです。

○そこで、最初の質問です。

本アンケート調査を含め、多様な意見を聴取し取りまとめるHP作成委員会を設置したいと考えています。ついては、委員会に参加し協力してみたいと思われる組合員の方は氏名を記載願います。委員会開催は2～3回の予定です。旅費、日当等を支給します。

・参加希望者なし

・経費はかかりますがプロの作製会社に依頼し、意見集約の委員数名で良いと思います。

○「トップページ」の構成に関するご意見

現在のトップページを開くと、開かれ画面に受託作品は表示されるものの、キャッチコピー等はなく、何をしている組織なのか分かりにくいと思われます。

次に、発注者の立場で「発注者の皆様へ」の窓口をクリックするといきなり「設計者選定」に飛びます。そのことが目的ならば良いが、組合全体の業務概要は分かりにくいと思われます。一方で「組合のご案内」をクリックすると「組合概要」として代表者挨拶や組織図が表示され、「業務案内」にたどり着きにくい。

気になる点は、「耐震診断」はバナーのみの掲載でリンクするページがない。また、左側のログイン情報入力は今現在利用できる状況にないことです。

トップページとして発注者・組合員向け情報をどのように整理し表示するのが良いか伺います。

・指摘のとおりだと思います。トップページでは、組合がどういう組織で他の設計関連団体と何が違うのか、が明確にわかるようなものがよいと思います。

・①組合の概要、②組織、③各会員の県内地区方部別リストと作品、とし、設計者選定については外部第三者からすれば意味がないと思えるが。

・このページの最初に書き入れる文章は「組合員募集」ではなく「発注者の皆様へ」だと思ふ。HPの最初の目的は発注者に組合を知ってもらうことと思ふ。

・官公庁の発注者に向けたものか、会員向けのものなのか、曖昧になっています。

・会員向けはパスワード入りで、コンペ情報や展示企画の案内（都内）、EDS使用方法等にして、差別化を図ったらどうでしょうか。

・メインのイメージ画像を吟味し、まず固定イメージとするのか、定期的に入れ替える

のかを考える必要があるかも知れません。メイン画像を入れ替えることで、閲覧者はHPが更新されていることを感じる（組合が健全に運営されている印象を与える）ことにつながるかも知れません。

- ・現在はメイン画像と最近の作品を分けていますが、定期的にルールを決めて最近の作品写真をメイン画像として（兼ねて）表示しても良いと思われます。

- ・何をしている組織なのかを分かりやすくするために、現在、「組合のご案内」→「業務案内」と何度かクリックしないと見られない内容（①施設整備のための運用事務、②コンペ・プロポーザルの運営事務、③施設再利用のための企画の立案業務、④設計積算見積書作成システムの開発販売業務）などの表題を、トップ画面近くに（あるいはラップさせて）分かりやすく表現させてはどうでしょうか。そこから更に内容ページへ飛ばせるようにしても良いと思われます。

- ・「組合作品集」”名称”を「組合業務実績」や「プロジェクト」にしてはどうか。なんとなく組合と担当事務所が分離したようなイメージを想起させるため、事務所協会などとはニュアンスが違うのではないか。（各業務は設計協同組合を看板とし、その実績として取り組む為。）

- ・HPの全体像が分かりにくく、どこをクリックしていいのかわからない。

- ・はじめのページのflashがmacだと見えない時もあるので、無理にflashを使わなくても良いのではないかと思います。

- ・トップページで、組合がどういった組織なのかわかる単文、写真等があった方が良くと思います。

- ・組合員募集は発注者の皆様へより下のページでも良いかと思います。

- ・コンペ、プロポーザルの実績数など、過去組合で関わった実績についてリスト化することはできないのか。作品集以外にも組合で運営したコンペ数などが分かると良いと思う。

- ・研修の本などの紹介もしてはいかがでしょう。

- ・情報を構造的に整理して見ると良いと思います。

- ・現在、EDS、組合員募集、発注者の皆様へ等様々なバナーもあります。同じ情報、リンクをもつバナー、タブが重複してあったり、様々な場所に散らばっていたり、トップページを見ただけでは、どのようなハー無ページの構成になっているのかわかりにくく、情報にたどり着きにくいと感じました。

- ・トップページには、受託作品（何作品をスライド表示が良い）、キャッチコピー、バナーには組合のご案内、業務案内、業務実績程度に絞る。EDSリンクをつける程度。

- ・最新ニュースは引き続きトップページにあった方が良いでしょう。

- ・バナーは、①組合のご案内→組合概要、組合員紹介、②業務案内→プロポ等の運営、耐震診断、EDS販売、③業務実績→組合員作品（年度順と用途順の2種選択）。

- ・組合員ログインは不要にしてはどうか。

- ・お問い合わせをバナー下の目立つ位置に表示してはどうか。

- ・市役所等のHPと同じように市民の方へ、働く方へ等トップページで選択して進む表示で良いと思います。

○「組合のご案内」に関するご意見

次に、トップページにあるアイコンに関してのご意見を伺います。

はじめに「組合のご案内」ですが、クリックすると表示される「組合概要」に関して

ご意見があれば伺いたい。

以下、「業務案内」、「設計積算見積書作成システム」、「組合員募集」、「お問い合わせ」の流れとなっているが、現状の内容で良いか伺います。

- ・組合の最大の特徴は、組合が受注して担当事務所が作業、自主チェック体制、さらに公的機関に対してはコンペ等による設計内容の事前確認ができることのメリット等だろうと思いますので、その辺りのアピールが肝要と思います。
- ・つまり、上記と同じく他の同種団体との業務や設立趣意の違いを明確に、建築専門外の閲覧者が理解できることが必要と思います。
- ・組合員募集における推薦人や経歴、資格の条件等も明記すべきと考えます。
- ・せめて組合の位置・外観・事務所の内部の写真があれば、とっつきやすいのでは。
- ・また、何故ページの一番上にEDSのコマーシャルがあるのかなと思う。営利団体だから当然かもしれないが一番の目的ではないと思う。
- ・日々の建築コラムや都内で開催されている建築展や催事情報があると良いです。
- ・建築本などの紹介。
- ・海外研修の実施実績なども照会してはどうか。
- ・代表者写真がいきなり来るので挨拶文かと思えば、概要のようなので、別ページで代表者挨拶があるといいと思う。
- ・全体共通でフォントは平滑で見にくいのでフォント分けやサイズ分けで、強弱を付けるといいと思う。
- ・EDSの紹介、ここですか？
- ・発注者は自治体が多いかもしれませんが、組合概要についても分かりにくいかもしれません。
- ・経済産業省認可官公需適格組合として、直接自治体から仕事が受けられる等の具体的なことがあると分かりやすいかと思います。
- ・実績についても、コンペ数、受注数などが分かると良いと思います。
- ・組合に発注するメリット等についても具体的に書いた方が良いと思います。
- ・内容はそのままでも、表示をデザインしてカッコよく表示。
- ・概要→組織図→役員名簿の純でリンクに。

○「組合作品集」に関するご意見

次に、「組合作品集」をクリックすると用途別の作品が表示されます。区分された用途に作品がないものもあります。表示は写真と担当設計者、所在地、竣工年次となっています。誰に対して提供する情報なのか、必要とされる情報が表示されているのかなどご意見があれば伺います。

- ・発注者、設計者決定経過、業務内容（基本、実施、工事監理）、業務の期間などの詳しい情報があれば、行政機関の閲覧者の参考になるかと思います。
- ・写真も少し小さいのでもう少し大きくすべきと考えます。
- ・また、作品の特徴等HPを開く人へ伝わるようにすべきと考えます。
- ・カテゴリーを無理やり増やさなくても良いのでは。
- ・入札なのか、コンペだったのか等。
- ・内部写真や発注者やオーナーの感想があると良いですね。
- ・基本構想業務、基本設計業務などを追加してはどうか。
- ・「作品」という表現がいいのかどうか……「実績」等では？

- ・写真が無くてもリスト化する等実績として数は多い方がいいと思う。
- ・実績のないカテゴリーは削除でいいと思う。
- ・作品として掲載するだけでなく、プロポーザルを実施したのか、どのくらいの準備期間があったのか、ワークショップを開催したのか等、組合としての活動が分かると良いと思います。
- ・開くと何作品か作品がスライドしていくように。横に6種程度。
- ・年代順とカテゴリー（用途）にそれぞれ検索が可能に。

○「組合員紹介」に関するご意見

次に、「組合員紹介」をクリックすると方部別の組合員事務所名が表示されます。事務所名をクリックするとフォーマットに沿った事務所概要が表示されます。また、各事務所HPとリンクしているところもあります。元々、組合員は事業費総額1億円以上の公共事業実績3件以上有していることが加入条件となっています。これらを踏まえ現状の内容で良いかご意見があれば伺います。

- ・元請設計事務所と下請を主にやっている事務所を比較されると加入条件が難しくなってくるのでは・・・、年間事業費にこだわる必要がないのでは。
- ・見る人への情報の一つとして、組合員の写真、事務所の外観、作品等を燃せたら、文字のみの表現よりわかりやすいのではと思う。
- ・各会員の写真を含めた案内形式の統一が欲しいと思う。
- ・加入条件はそれでも良いと思います。この欄の文字だけでPRに乏しいです。
- ・UP以来内容が更新されていないのではないかと、定期的に内容を更新できるような方策がとれないか。
- ・意匠、構造、設備程度の分野標記があってもいいと思う。
- ・公共事業実績等が分かるものがあれば、発注者も安心できるものになると思います。
- ・内容はそのままでも、表示をデザインしてカッコよく表示。
- ・各事務所ページで3作品ほど表示できるようにしては。HPのない会社も作品が分かるように。
- ・上記条件の場合、当社は組合に加入出来ない条件となります。（設備設計）

○「設計者選定について」に関するご意見

次に、「設計者選定について」をクリックすると「はじめに」、「設計者選定の流れ」、「審査結果公表」の順に表示されます。発注者が見ることを想定しているが分かりやすいか伺います。

- ・差し支えない物件の実例・事例をフロー説明図に沿って右側にでも示せば、閲覧者が理解しやすいのではないのでしょうか。
- ・建築専門外の閲覧者が理解しやすいことが肝要と思われます。
- ・第三者も閲覧すると考えた場合の内容の表記を分かりやすくしてはどうでしょうか。
- ・設計者選択の個所で組合はコンペを推奨しているとあるが、最近がプロポが多いような気がする。
- ・プロポ・コンペの選択方式に対するメリット・デメリットが記載されていれば発注者にも理解が深まるのではないかと。
- ・この欄を見るのは官公庁の中高年でしょうか。老眼、集中力の低下が出てくる頃、文

字は小さく行間が詰まっており強弱の表現がなくPRに乏しいです。

- ・ここか別の所に、当該組合員がどのような会員資格をもって参加している技術集団であるのかを分かりやすくPR（表示）しても良いのではないか。
- ・挿絵はどこかのフリー素材ではなく実績やヒアリング実施時の写真等を使った方がよいと思う。
- ・過去の結果や講評が見られるといいと思う。
- ・実際の実例等載せていいものがあれば、具体例があった方が分かりやすいと思います。
- ・コンペをコンペ・プロポーザルと表記。
- ・途中にコンペとは、プロポーザルとは、と違いの説明文を入れると良いのでは。

○「設計積算見積書作成システム（EDS）」に関するご意見

次に、EDSをクリックするとシステムの特徴と申込書及びサポートシステムにリンクします。現状の情報提供の内容で良いか伺います。

- ・講習会などにより、ゼネコン等にアピールしてはどうでしょうか。（HP外？）
- ・コードによっては開かないものもあり、また、単価等も朱記載の場合もあるので、整合する必要があると思われます。（HP外？）
- ・また、コード番号と項目の一覧表を配布していただきたいと思います。画面でスクロールするより並べやすいため。（HP外？）
- ・EDSソフトの販売広告になっています。
- ・使用方法や質疑&回答とかあると助かるし、組合員としてのメリットも発生します。
- ・入口が分かりにくいのと、売りたいのか売らたくないのかが分からない。売りたいのであれば購入意欲を掻き立てる画面には程遠い。
- ・ソフトの操作画面等を見やすく表示してほしい。
- ・EDSのタブも組合員募集、発注者の皆様へと等価のものにするか、あまりバラバラにならない方がよいと思います。

○「組合員募集」に関するご意見

次に、「組合員募集」をクリックすると募集案内の表示と申込書がダウンロード出来るようになっています。現状の内容で良いか伺います。

- ・組合員の増強を図るのであれば方部ごとに建築士会や建築士事務所協会、JIA等の方々への勧誘（キャンペーン）を行うことも必要となるのでは。
- ・組合に入会した場合のメリットが表現されていない。
- ・コンペ・プロポへの参加機会の増加・勉強会参加による会社の若手所員への教育環境の充実など記入することもあると思う。
- ・この欄ばかりではありませんが文字ばかりで堅苦しく、入り込むのが難しいイメージを受けます。
- ・定款や審査基準はどこにあるのか分からない。
- ・申し込めるかどうか、判断が付かない。
- ・組合に所属したときのメリットについて分かるように、活動等についても分かるようになっていればと思います。

○「最新ニュース」及び「建設ニュース」に関するご意見

次に、「最新ニュース」等をクリックすると「組合たより」や各種案内が表示されません。現状の内容で良いか伺います。

- ・今後の研修会、シンポジウム等を組合だけでなく建築士会、建築士事務所協会、J I A、国土交通省等の情報も広く載せるのも便利ではないでしょうか。
- ・最新ニュースは本団体のものだけですね。それ以外にも記載はダブりますが、催事や一般競争入札情報などあっても良いと思います。
- ・トップページの下の方すぎて気付きにくい。
- ・必要ないのではないかと思います。
- ・プロポ後のワークショップなども入れているのがすごく良い。

○「リンク」に関するご意見

次に、トップページ下段にある「リンク」をクリックすると建築関係団体が表示されます。現状の内容で良いか伺います。

- ・現行HPの下欄、懸案事項のと通りの団体はあってよいと思います。
- ・良いと思います。
- ・最終更新日が古すぎて「どうかしら」と思う。
- ・半公共団体ですね。誰のために役立つHPなのでしょうか。
- ・表示順の再考。

○「組合員ログイン情報」に関するご意見

次に、トップページ左側の「ログイン情報入力」ですが現在利用できる状況にありません。組合員専用になどのような情報やデータベースがあれば役に立つか、また、どの程度のデータであれば提供可能か伺います。

- ・最新の法改正情報、また各特記仕様書や標準図など公開できるものを閲覧できるというのはどうでしょうか。
- ・役員会の参加予定をHPで確認できれば便利と思う。
- ・年間スケジュールがあれば他団体とのバッティングも少なくなるのではと思う。
- ・質問の意図が理解できない。
- ・会員の研修記録や説明会資料等の閲覧・共有など。
- ・発注状況、受注業務の進捗状況。
- ・設計資料や役立つ最新情報等。
- ・各書式・様式のダウンロード。
- ・現在、メールやFAX等でいただいている組合の活動が、まとめられていると分かりやすいと思います。
- ・また、グループ内のSNSのようなもので、専門的な知識や情報を共有できる場も作ることがあっても良いかと思います。
- ・使えればあった方が良い。
- ・プロポーザルの時に要領や、配置図などのCADデータのダウンロード先に。

○「その他」に関するご意見

最後に、現行ホームページの内容にとらわれず、発注者や組合員等にどのような情報提供のあり方が良いか伺います。

参考にさせていただきますので自由な発想でご意見願います。

・閲覧者が知りたい情報は、用途、規模、予算、工期などの実際の事例かと思います。公開できる新鮮な情報の一部を紹介して、詳しくは問合せ・・・という引き込み方はどうでしょうか。

・また、コンペなどでは、実際行った機関（施主）からの結果に対する事後感想・コメントなどをいただき掲載できればリアリティが増すのではないのでしょうか。

・色々なHPを見てみると、こと細かに更新や情報の追加をされているものもあれば、情報日時が古いものもあります。随時新しいものを提供するために専門の担当者が必要なのではないでしょうか。

・官公庁ばかりでなく「民間の企業・団体等の受注の可能性のように」表現を広めたらどうか。

・民間企業の「基本計画」、「設計者選定等の協力」も組合の仕事の対象となりうるのでは。過去にそのような事例があったかもしれませんが。

・発注者には「なぜ組合に発注すると良い結果になるのか」差別化を図れる内容、組合員であるメリットが判る内容、タイムリーな情報など。

・売りとなる、専門知識を持った技術集団（プロジェクトマネジメントや設計・管理業務）であることの効果的なPRをどのように盛り込むかが重要ではなか。

・発注者に対して安心して任せたいと思わせる内容・構成。

・組合員に対して会員であるメリットが十分に感じられる内容・構成であってほしい。

・ブログ的な記事、または各組合員が持ち回りで掲載する記事、facebook 等の連載があっても良いのではないのでしょうか。

・更新頻度がもう少し高まる工夫があれば、より頻繁にHPを見てもらえると思います。

・また、受注について自治体や半公共団体を対象としたものかもしれませんが。民間の発注者も想定した作りになればと思います。そのためにもトップページにおいて組合の活動や、組合に発注するメリットがより具体的に分かりやすくなったものとなればと思います。

・市町村の発注者向けのプロポーザル実施作品の完成後の見学会開催。

・プロポーザルをやることで、こんなに豊かな空間が作れますとプレゼン。

・設計者からのコンセプト説明、ワークショップの概要や進め方の説明、その後の意見交換会など。